

令和3年度 江戸川区立小岩第三中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を大切にし、思いやりのある人 ・心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ・積極的に学習し、考えて行動できる人 ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	目指す学校像・・・校訓である「公德」「礼讓」「明朗」な生徒の育成を目指す学校 ～江戸川一面倒見の良い学校～ 目指す生徒像・・・①自ら考え、判断、行動し、確かな学力を身に付ける姿勢をもつ生徒 ②規範意識・人権意識を身に付け、豊かな心をもつ生徒 ③自主性・社会性をもち、地域に貢献する生徒 目指す教師像・・・①確かな教科指導力・生徒指導力を身に付けるため研鑽を重ねる教師 ②生徒の将来を展望し、生徒一人ひとりの理解に努める教師 ③保護者・地域から信頼され、愛される学校づくりに邁進する教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>学校全体で「心を耕し、身体を鍛え、学力を伸ばす」学校を目指し、健全育成の取り組みを進めてきた。その成果として、心身ともに健康で、思考力・判断力・表現力を身に付けた生徒の育成を進めている。 <課題>学習用タブレットの効果的な活用方法を、授業に取り入れるなど、教科指導法の改善を進めるために研修を積み上げていく。教職員の働き方改革を進めながら、前年度までの指導を継続・発展させていく必要がある。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を見合う週で互いの授業を見合い、授業改善に繋げる ・長期休業日や放課後に補習を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を見合う週間を学期ごとに年3回実施する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を見合う週間を年3回実施した。授業のユニバーサルデザインの視点で授業を見合い、アイデアの報告をまとめることで学校全体の授業力向上に努めた。 ・長期休業日を中心に補習教室を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用など、生徒が意欲を高めて行うことができる授業を、今後も継続して行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のユニバーサルデザイン化の視点で授業見学・授業改善を行い、基礎・基本が身につく授業作りを行う。
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル(3年) ・おすすめ本ポスター作成(1年) ・ブックトーク(2年) ・調べ学習(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の研究指定校として行った研究発表の経験を生かし、読書科(調べ学習等)を各教科で実践していく。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心と表現力をはぐくむ読書活動を計画し、ビブリオバトル、ブックトーク、おすすめ本ポスター制作を実施した。 ・学校図書館や学習用タブレットを活用し、都内巡り、林間学校、修学旅行に関する情報収集・分析などを通してまとめる力を身に付けるための指導を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して指導することで、読書が好きな生徒が多く育ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の伝統として取り組んでいる読書活動を実施し、今後も継続・発展させていく。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時の補強運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の授業で5～8分程度の補強運動を実施し、主運動につながる体力を高める。 ・次年度、新体力テストで8割以上の種目で、都・全国平均の数値を超えられるように土台を作る。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業にて補強運動を1年通して取り入れ、生徒の体力向上・維持に繋げる指導を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会に出場するなど活躍する生徒が見られる。今後も授業や部活にて活気ある学校であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補強運動を今後も継続的に実施するだけでなく部活動の推進にも取り組むことで、コロナ禍でも体力が落ちないよう指導する。
	オリバラ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリビック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリバラコーナーの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリバラ講演会の実施 ・オリバラコーナーの掲示物更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月にオリバラ講演会を実施 ・学芸発表会の展示にてオリバラコーナーを充実させていく。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大学准教授である佐藤たまき先生に国際交流についての講演をしていただいた。 ・行事にてオリバラコーナーの展示を充実させ、オリバラへの深い理解ができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の将来につながる講演会や、興味をもって学べるものを、今後も実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリバラ教育を通じて生徒の心の成長に繋がるよう、継続して計画的に講演の実施、体験活動などを実施する。
	外国語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上とALTの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの計画的な活用 ・英検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回校内で英検を実施。 ・英語科教員の授業力の向上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのコミュニケーションの授業を取り入れ、英検の面接に繋がった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が国際社会で活躍できるよう、語学力が伸びる授業を、今後も実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTをより活用し、国際交流への興味関心が高まるよう指導する。
	健全育成に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策委員会の設置 ・学習ボランティア、ステップサポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携による不登校支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、いじめ対策委員会のメンバーを含む生活指導部会にて、情報・指導方針の共有を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回実施した運営会議、生活指導部会にて情報・指導方針の共有を継続して行った。 ・教員、保護者がSCに相談した内容を共有し、組織的支援を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現在生徒は非常に落ち着いている。今後も安全で安心できる学校づくりを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対処から未然防止に繋がるいじめ対策を常に心がけ、いじめに対する組織的対応の意識向上に努める。
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会の設置 ・授業のユニバーサルデザインの実施 ・エンカレッジルームの活用 ・学校だよりの交換を通じた交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回、特別支援委員会による情報の共有、エンカレッジルームの活用についての共有を行う。 ・講師を年3回招き、授業のユニバーサルデザインについて研修を実施する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会を毎週1回実施し、支援が必要な生徒の情報共有、エンカレッジルームの使用状況などの共有を行った。 ・大学教授・阿部利彦先生に教育のユニバーサルデザインについて講演を依頼し、現在2回実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への苦手意識を持つ生徒、不登校生徒など、生徒の多様性を今後も考慮しつつ、丁寧な対応を引き続き取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会を通じて、支援が必要な生徒について共通理解し、素早い対応に今後も努める。 	
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール委員会の設置 ・ICT校内研修会の実施 ・オンライン授業に向けた環境整備 ・道徳研究授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回ICT研修を実施。 ・道徳の校内研究授業を11月に実施。 ・GIGAスクール委員会による、オンライン授業に向けた校内研修を年2回実施。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT研修により、情報モラルについて研修を実施した。 ・GIGAスクール担当によるオンライン授業に向けた、学習用タブレットの操作についての研修を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業など、タブレットを活用した学習機会を今後も増やしてほしい。 ・学習用タブレットの活用を充実させ、生徒の興味を引き付ける授業を今後も行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA担当より環境整備を常にを行い、学習用タブレットの活用事例の共有し、効果的な学習活動を学校全体で推進する。 	
特色ある教育の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンプランの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを取り入れた教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上の緑化、緑のカーテンを通してSDGsを取り入れた教育の実践 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上の緑化、1階教室前にゴーヤを栽培して緑のカーテン作りを実施し、SDGsについての教育に取り組んだ。 ・学芸発表会・舞台発表にて、学校全体の取り組みを紹介した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの理解を深めることができるよう、身近なところで自然に触れ合う機会を増やし、世界で求められる目標理解ができるよう指導してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンプランを通じて、SDGsへの理解が深まるよう継続して指導を行う。 	